

ジェイテクトの技術開発の強化取り組み

— Trend of technological development at JTEKT —



取締役副社長
河上 清峯
S. KAWAKAMI

ジェイテクトは2014年に5年後を見据えた中期経営計画を策定し、その後、毎年そのローリングをしながら進めていくことを決め活動しています。この中期経営計画を達成するための前提は、いうまでもなく基盤技術の開発・進展と、それをベースとした新商品開発であり、さらには、これを実現していくためのハード面、ソフト面での体制の整備と充実化といえます。以下に、ジェイテクトの各事業分野での最近の技術動向を基にした、今後の技術強化の方向を示したいと思います。

「ステアリング事業」

ジェイテクトのステアリング事業はグローバルシェアNo.1であり、世界中の自動車・自動車関連各社とお付き合いいただいています。シェアNo.1サプライヤの使命として、常に顧客の期待を先取りする技術・商品開発の推進が求められています。近年、ADAS（自動運転支援技術）に代表されるように自動車技術の進展は著しく、ステアリング事業分野においても、その動向への速やかな対応が求められています。ジェイテクトは長年の技術蓄積を活かし、現在、顧客の期待に応えられる新しいステアリングシステムを開発中ですが、製品化に向けさらなるステアフィールの改善と、機能安全性の完成度向上に取り組んでおります。

また、従来のステアリングシステムにおいても、軽量化、システム効率向上および原価低減は必須要件であり、継続した技術開発を進めております。

「駆動事業」

駆動事業では、オイルポンプ、CVJ、プロペラシャフトなど各種の製品を提供しておりますが、特にITCC[®]、トルセン[®]はトルクコントロールデバイスとしてグローバルNo.1商品となっております。これらの商品群においても、低燃費化への技術要求は高まっており、スピードある対応が必要となっております。ITCC[®]ではディスクコネクタ化のニーズとともに、デファレンシャルを含めたモジュール化の要求もあり、開発を加速させております。また、トルセン[®]においても次世代の小型・高機能

商品の開発を進めており、顧客とともに次世代ドライブラインとしての検討もスタートしております。

「軸受事業」

軸受事業では、風力、航空機、鉄道、鉄鋼などの大型産業向けから、自動車用ハブユニット、トランスミッション用軸受など、あらゆる産業用の幅広い商品群を扱っております。回転する部位には、すべて軸受が使用されており、高精度、静粛性とともに低トルク化が省エネルギーに大きく寄与します。ジェイテクトでは、顧客のニーズに対応して「LFT[®]-IV」に代表される超低摩擦円すいころ軸受の開発商品化を完了しております。引き続き、長年蓄積してきたトライボロジー関係の基盤技術をさらに進化させ、グローバルでトップとなる新商品の開発体制の強化に取り組んで参ります。一方、生産プロセスにおいても従来の大ロット生産からの脱却を目指し、新生産プロセスの開発を進めており、さらなる品質向上、納期短縮、原価低減に寄与していきたいと考えています。

「工作機械事業」

工作機械事業では、ジェイテクトグループとして、ほぼすべての種類の工作機械を提供しております。近年では、世界に先駆けてギヤスカイビングセンタを開発し、多くの顧客に注目頂いております。また、生産プロセスの進化はIOT、および、Industry-4.0に代表されるように個々の機械からインテグレート生産システムに急激なスピードで進化しており、ジェイテクトにおいても本システムへの対応を強化しております。

各事業分野の発展のための基盤となるのは研究開発であります。今後、さらなるスピードアップが求められており、現在、ジェイテクトにおいては設備面、人材面を含めて研究開発体制の整備充実を図るとともに、さまざまな分野において産・学・官と連携しながら推進しております。

次世代のジェイテクトビジネスを確固たるものとするべく、皆様と連携を強化しながら、日々たゆまぬ技術開発を推進していきたいと思っています。